

2017年4月号

4月15日(土)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊

温根内通信

No. 247



新しいビジターセンターと湿原…

おかげさまで当ビジターセンターがリニューアルして開館を迎えることになりました。生まれ変わったビジターセンターで、我々職員も心新たに、これからも自然情報をわかりやすく皆様にお伝えしていきたいと思います。釧路湿原は早春。冬鳥は旅立ちの準備で群れを作り、入れ替わるように夏鳥たちもやってきました。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【キタミフクジュソウ】
キンボウゲ科 北見福寿草
鮮やかな黄色が春の訪れを感じさせてくれる花です。晴れた日に太陽光に向かって花弁を広げ、熱で虫をおびき寄せます。毒に注意。



【バイケイソウ】
シュロソウ科 梅恵草
今年も鶴居軌道の水辺に芽吹いてきました。こちらにも毒があり、ギボウシ類と間違えて誤食する例も見られます。



【エゾイラクサ】
イラクサ科 蝦夷刺草
鶴居軌道の地面に芽吹きだしています。夏に1mを超える背丈になり、目立たない花を咲かせます。触れると痛痒くなるので注意。



【エゾアカガエル】
アカガエル科 蝦夷赤蛙
初めて聞く人は「あの声は一体何？」と思うかもしれませんが。産卵の時期で今は大合唱が聞こえます。木道沿いで姿も見られるかも。



【タヌキモ(越冬芽)】
タヌキモ科 狸藻
冬の間、雪の下で越冬していた芽が水面に顔をのぞかせています。これから太くなっていき、まさにタヌキの尾ようになります。



【アメリカミンク】
イタチ科 特定外来生物
見た目は愛らしくもありませんが、希少な在来種も食い荒らしてしまう厄介な外来種です。見かけても決して餌は与えないで下さい。

○表紙の写真 上:ビジターセンターと旧センター 中右:館内の様子 中左:テーブルカットの様子 下:オオハクチョウ

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

温根内周辺にはオオジュリンやノビタキなど、夏鳥たちが続々と集まり始めています。湿原が小鳥たちのさえずりで騒がしくなる日ももうすぐです。また、温根内ではこの春、2種の野鳥（ソデグロツル、エソビタキ）が初めて確認されました。これが春の珍事で終わらず、色んな野鳥が集う湿原になっていくといいですね。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出ししています。



【オオジュリン】 夏鳥
ホオジロ科 大寿林
釧路湿原にオスだけがいち早くやってきます。ヨシの枝につかまって、縄張りを主張している姿が見られます。



【オオハクチョウ】 旅鳥（一部越冬） カモ科 大白鳥
この冬は鳥インフルでお騒がせしたオオハクチョウ。繁殖のため、編隊を組んで湿原上空を通過して行きました。



【カシラダカ】 旅鳥
ホオジロ科 頭高
繁殖地へ旅立つ準備をしているようで、ハンノキ林に群れでやってきました。複雑な鳴き声で楽しませてくれました。



【チュウヒ】 夏鳥
タカ科 沢鷲
国内RDBでI Bにランクされています。トビと大きさが似ていますが、低空飛行で浅いV字型で飛翔するのが特徴です。



【ソデグロツル】 迷鳥 ツル科 袖黒鶴

温根内では初の確認です。VCの上空を3羽が通過していきました。タンチョウと見間違えてしまいましたが、翼の先端部（初列風切）が黒いのがタンチョウとの大きな違いです（拡大写真参照）。中国やインドで越冬し、日本にはごく稀に飛来する迷鳥です。



○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（3月15日～4月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■ヒシクイ■オオハクチョウ■キジバト（4/11 初認）■ソデグロツル（4/3 温根内初確認）■タンチョウ■トビ■ノスリ■オジロワシ■チュウヒ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■シジュウカラ■ヒバリ（3/27 初認）■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■ミソサザイ■ツグミ■ノビタキ（4/11 初認）■エソビタキ（4/7 温根内初確認）■セグロセキレイ■マヒワ■ベニマシコ（4/6 初認）■カシラダカ■アオジ（4/14 初認）■オオジュリン（4/6 初認）

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆ 特集 新しいビジターセンターへようこそ！ ☆☆☆

約10ヶ月にわたる建替え工事の末、このたび新しいビジターセンターがオープンすることとなりました。生まれ変わったセンターで皆さんをお待ちしています！

～開館式典が開かれました～

去る4月8日（土）、一般向けオープンに先立ち開館式典が開かれ、多くの方々からお祝いと励ましの言葉をいただきました。道東の玄



多くの方々から祝辞をいただきました

関口となる釧路空港から近く、湿原の内部までアプローチできる貴重な探勝歩道のあるこの温根内に関心と期待が寄せられていることを改めて感じました。式典の最後にはテープカットが行われました。

～開放感あふれるつくりが驚きの声も～

正面入り口から入ると、実物大のタンチョウ（模型）が皆さんを出迎えます。以前のビジターセンターをご存知の方は、その天井の高さと、窓の大きさに特に驚かれます。とても開放感のある館内で、ゆったりとした時間を過ごすことができます。

～釧路湿原のないたちや湿原の生き物が学べます～

館内の展示もより見やすくなり、釧路湿原がどうやってできたのかや、湿原に生きる動植物を解説・紹介しています。床には動物が付けた足跡がありますので、何の足跡か当ててみてください。また、映像でも釧路湿原を紹介していますのでこちらもご利用ください。



東側のテラス。晴れた日には心地よい日差しと鳥の囀りが楽しめます。



休憩スペース。冬には薪ストーブを利用できます。

～休憩スペースもあります～

館内には休憩スペースがありますので、木道を歩いた後などに、ゆっくりと体を休めてください。また、センター東側にはテラスを設けました。テラスからはヨシ原の景色や、鳥たちの囀りを楽しむことができます。さらに、このテラスから直接木道へ下りすることもできます。



釧路湿原に関する映像施設。5～20分程度の映像が3種類あります。



正面入り口すぐの展示スペース。天井を飾るタンチョウの模型は実物大。

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪春の花を見に行こう

〔日時〕 5月7日(日) 10:00～12:00 〔定員〕 15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕 無料

〔場所〕 温根内ビジターセンター

釧路湿原ではようやく花が咲き始めました。よく探さないと見過ごしてしまう早春の花々を探してじっくりと観察し、釧路湿原の遅い春を実感します。

♪早朝バードウォッチング

〔日時〕 5月21日(日) 8:00～10:00 〔定員〕 15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕 無料

〔場所〕 温根内ビジターセンター

釧路湿原は繁殖期を迎えた野鳥のさえずりで大賑わいです。野鳥の活動が活発な早朝の時間帯に観察会を行います。何種類の鳥を確認することができるでしょうか？

※双眼鏡の無料レンタルを行っています。必要な方は申込時にお知らせください。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪湿原の野鳥観察会

〔日時〕 5月6日(土) 10:00～12:00 〔定員〕 15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕 無料

〔集合場所〕 憩の家かや沼駐車場

～HPもリニューアル！～

センターの建替えに伴い、当センターのホームページもリニューアルしました！右に記述しているURLから見られます。最新情報もチェックできます。



月刊 温根内通信 No.247

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

リニューアル！

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: 温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間: 9:00～17:00(3月～11月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料